

現場説明書（技術的事項）

工事名称 福山市立久松台小学校屋内運動場長寿命化改修給排水衛生設備工事

1. 現場の状況

工事場所は、福山市久松台一丁目9番1号に位置し、北側は福山市道久松台15号線、東側は福山市道久松台5号線、南側は福山市道久松台北本庄幹線、西側は福山市道御幸地吹幹線に接しています。

本工事を行う建物は小学校敷地内にあり、当該工事期間中も通常通り施設は小学校業務を運用しています。

2. 福山市週休2日適用工事について

（発注者が指定した工事に該当し実施については○印のついたものを適用する）

- ・ 発注者指定型
- 受注者希望型

本工事は、持続可能な建設産業の実現に向けた労働環境の改善を目的とする福山市週休2日適用工事です。詳細については、別紙（公共建築工事における福山市週休2日適用工事の実施について）によるものとします。

3. 留意事項

①地元企業・地場製品の活用

受注者は、地元企業及び地場製品の活用に努めてください。

②建設リサイクル法の適用外

本工事は建設リサイクル法に該当しませんが、特定建設資材の再資源化に努めるとともに、建設副産物入力システム（COBRIS）による計画書及び実施報告書を提出してください。

③現場代理人及び監理（主任）技術者等の配置

現場代理人及び監理（主任）技術者は、契約約款及び建設業法等の関係法令に違反しないよう適切に配置し、本工事の施工管理を行ってください。

④工程管理

工程管理については、各施設管理者と十分に協議のうえ、施設運用に支障を及ぼさないよう適切に計画してください。

⑤安全確保

工事期間中は労働災害の防止に加え、施設利用者に対する公衆災害の防止に万全を期し、安全確保に必要な措置を適切に講じてください。

また、工事用車両は、通学時間帯を避けて出入りしてください。

⑥工事車両の出入り

工事車両の出入口から道路へ泥等を持ち出さないよう十分留意してください。また、道路等を汚損した場合は、速やかに現状復旧を行ってください。

⑦既存工作物等の保護

工事により既存工作物等に損傷を与えないよう必要な対策を講じてください。万一損傷を与えた場合は、監督員及び各施設管理者と協議のうえ、速やかに復旧してください。

⑧物品の移動

工事の遂行に支障となる物品等がある場合は、必ず施設管理者と協議のうえ、当該物品の移動について依頼してください。

⑨工事車両の駐車位置

工事車両の駐車位置は、各施設管理者と協議のうえ決定してください。

⑩騒音・振動・粉塵対策

工事中の重機等による騒音・振動及び粉塵等が発生する作業を行う際は、十分な対策を講じてください。

⑪施工計画書の提出

工事の着手に先立ち、関係者との調整を行い、十分検討のうえ工事計画をまとめた施工計画書を作成し提出してください。また必要に応じて工種別施工計画書を作成し、提出してください。

⑫当初工程表の提出

当初工程表は契約後 14 日以内に提出してください。なお、作業工程については、監督員及び各施設管理者と十分に協議調整のうえ作成してください。

⑬官公署への手続き

工事の施工にあたり官公署への手続きが必要な場合は、受注者の責任において速やかに行ってください。

⑭別途工事との調整

構内で別途工事が行われる場合は、当該工事受注者と調整を行い、円滑な工事の遂行に努めてください。

4. 関連工事

- ・ 建築工事
- ・ 電気設備工事
- ・ 冷暖房設備工事
- ・ カーテン取付工事

(別紙・受注者希望型)

公共建築工事における福山市週休2日適用工事の実施について

- 1 本工事は、契約締結後において受注者の希望により行う、週休2日適用工事である。
なお、本適用工事の取組を希望しない受注者は、5～12に規定する義務を負わない。
- 2 本工事において「週休2日」とは、次の各号に定める区分に応じ、当該各号に定める条件を満たすものをいう。
 - (1) 完全週休2日(土日) 対象期間の全ての週(原則として、土曜日から金曜日までの7日間とする。以下同じ。)毎に現場閉所又は現場休息(以下「現場閉所等」という。)を原則として土曜日及び日曜日に指定し、1週間に2日以上現場閉所等を行うものをいう。ただし、当該期間に、日数が7日に満たない週を含む場合においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことで、1週間に2日以上現場閉所等を行っているものとみなす。
 - (2) 月単位の週休2日 対象期間の全ての月毎に現場閉所等の日数が、4週8休(現場閉所等の割合が28.5%(8日/28日)以上のものをいう。以下同じ。)以上であるものをいう。ただし、当該期間に、暦上の土曜日及び日曜日の現場閉所等では4週8休に満たない月又は日数が28日に満たない月を含む場合においては、当該月の対象期間内の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことにより、4週8休以上であるものとみなす。
- 3 本適用工事に係る用語の定義は、次の各号に定めるものとする。
 - (1) 現場閉所 巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。
 - (2) 現場休息 分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
 - (3) 対象期間 工事着手日(準備期間(契約上の工事の始期から現場事務所などの設置、測量、本体工事又は仮設工事のいずれか最も早い日までの期間をいう。)を除く。)から工事の完成日(後片付け期間(契約図書に基づく工事目的物の施工が全て完了し、余剰資材等の撤去、現場の清掃等、工事の完成検査を受けるために必要な作業を行う期間をいう。)を除く。)までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。
 - ア 年末年始6日間及び夏季休暇3日間
 - イ 工場製作のみが行われている期間
 - ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間
- 4 受注者は、工事着手までに監督員に対し、週休2日実施の有無及び実施する週休2日の区分について申し出るとともに、実施する場合は、現場閉所(現場休息)計画表兼実績表

(以下「計画表」という。)を提出するものとする。

なお、工事着手前に週休2日を実施しない旨を申し出た場合は、工事着手後の週休2日を実施する旨の申出は受け付けないものとする。

- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所等を行う場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日適用工事である旨を、施設管理者の承諾を得て所定の様式により公衆の見やすい場所に掲示しなければならない。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所等の状況を記入し、現場閉所等の状況が確認できる書類(工事日誌、出勤簿等をいう。)とともに毎月7日(7日が閉庁日の場合は翌開庁日)まで及び工事完成後速やかに、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。
- 10 経費については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数を用いて労務費(予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格(材工単価)の労務費とする。)及び現場管理費を補正するものとする。

なお、発注時点では、週休2日の経費を見込んでおらず、現場閉所等の実績に基づき、変更契約を行うものとする。

 - (1) 完全週休2日(土日)
 - ア 労務費 1.02
 - イ 現場管理費 1.01
 - (2) 月単位の週休2日
 労務費 1.02
- 11 週休2日を達成したときは、工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

なお、週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。
- 12 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

福山市立久松台小学校屋内運動場長寿命化改修 給排水衛生設備工事

図面リスト		
図番	図面名称	縮尺
W/01	機械設備特記仕様書No.1	—
W/02	機械設備特記仕様書No.2	—
W/03	工事区分表	—
W/04	附近見取図・配置図・凡例	1:500
W/05	給排水衛生設備 1階平面図 (改修)	1:100
W/06	給排水衛生設備 1階配管詳細図・器具表 (改修)	1:50
W/07	給排水衛生設備 消火設備 (改修)	1:100
W/08	給排水衛生設備 1階平面図 (現況、撤去図)	1:100
W/09	換気設備 1階・点検歩廊平面図, 機器表, 換気計算書	1:100

福山市建設局建築部設備課

主務	課員	次長	次長	設備課長	建築部長
----	----	----	----	------	------

排水設備	① 管 (第1層まで)	<ul style="list-style-type: none"> ※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP (露出部 カラーVP) ・ 排水用鉛管 (SHASE-S203) ・ コーティング鋼管 ・ 結露防止層付塩化ビニル管 ・ 耐火二層管 ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP
	② 通気管	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP (露出部 カラーVP) ・ 耐火二層管 ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管
	3 満水試験継手	3階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに満水試験継手を取付ける。
	4 ビット内配管保温	・ 施工する ・ 施工しない
	③ 方式 (屋外)	○ 自然排水 ・ ポンプ排水
	④ 管	○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) (・ VP ※ VU)
	⑤ インバート樹	・ SA, AB形 ・ SC形 ○ 小口径
	⑥ インバート樹用蓋	○ 塩ビ製 ○ 鋼鉄製 (・ MHA ・ MHB ○ 小口径用防護ハット)
	⑦ 排水斜	・ RA, RB形 ・ SC型 ○ 小口径
	⑧ 排水斜用蓋	・ 塩ビ製 ○ 鋼鉄製 (・ MHA ・ MHB ○ 小口径用防護ハット)
⑨ 埋設深さ	・ グレーチング ・ 鉄板製 ○ 6m/m	
⑩ その他	・ 300m/m以上 (車両道路以外) ・ 600m/m以上 (車両道路) ○ 勾配図による。	

給湯設備	1 方式	・ 単管式 ・ 複管式
	2 管	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鋼管 (JIS H 3300) (・ Mタイプ ・ Lタイプ) ・ 被覆鋼管 (呼び径20までとする) ・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW ・ 保温付被覆鋼管 (JIS H 3300の外面に発泡断熱材 (14mm以上) で被覆したもの) ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304 ・ 架橋ポリエチレン管 ・ ポリブテン管
	3 弁	・ JIS 10K ・ JIS 5K
	4 熱源	・ ボイラー () ・ 給湯器、湯沸器 ()
	5 膨張水槽	・ 電気温水器 () ・ ヒートポンプ式給湯器 ()
	6 その他	・ ステンレス製 () ・ 鋼板製 ()
配管終了後、保温施工前に監督員立会の上、規定の水圧試験を行う。		

消火設備	① 管	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (第2種亜鉛メッキ製品) (JIS G 3454) STPG ・ 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (WSP 041) SGP-VS <p>※消火用配管は、消防法令に適合するものとする。</p>
	② 種類	○ パッケージ型消火設備1型
	③ 消火栓箱	○ 総合壁付 (埋込型)
	4 水源用水槽	・ 総合形 (・ HB-4A ・ HB-4B) ・ 消火器箱併設形 (・ HB-1AS ・ HB-1BS)
	5 消火ポンプユニット	・ ステンレス製 () ・ 鋼板製 ()
	6 ポンプ基礎	・ 認定型 φ × / min × m kW × 台
	7 消火器	・ 標準型 ・ 防塵型
	8 保温	・ () 型 () 本 ・ 収納箱共 ・ 置台共 ・ 壁掛フック共
	9 その他	<p>イ) 呼水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する</p> <p>ロ) 充水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する</p> <p>ハ) 消火配管の保温は次による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋内消火栓用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連絡送水用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連絡放水用 ・ 施工しない ・ 施工する

浄化槽設備	1 処理種別	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小規模合併処理 ・ 合併処理 ・ 単独処理槽 ・ 放流水質 (・ BOD mg/l 以下 ・ COD mg/l 以下) ・ T-N mg/l 以下 ・ T-P mg/l 以下)
	2 構造	・ 分離接触ばっ気方式 ・ 長時間ばっ気方式 ・ 分離ばっ気方式
	3 形式・容量	・ その他 ()
	4 排水方式	・ ユニット型 () 型 人槽 /日
	5 マンホール	・ 現場施工型 () 人槽 /日
	6 その他	・ 自然排水 ・ ポンプ排水 ()

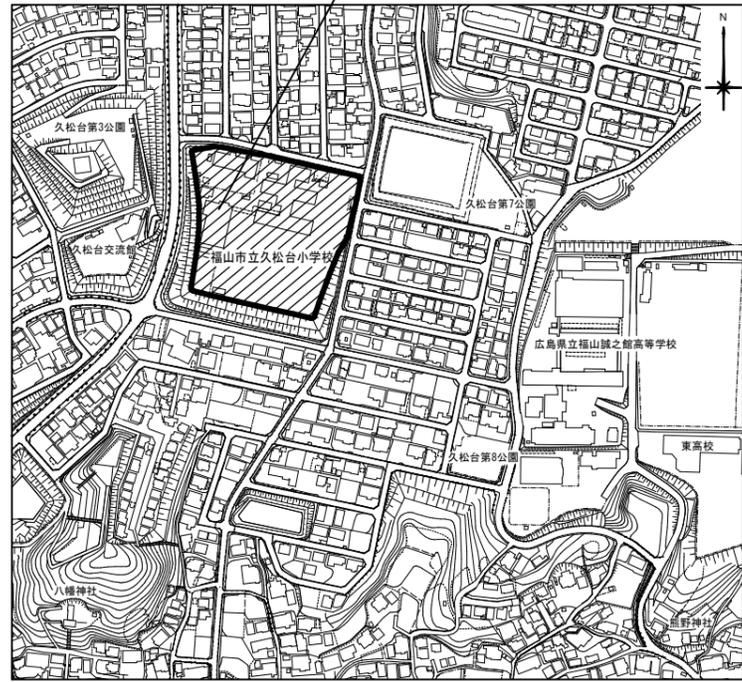
ガス設備	1 種別	・ 都市ガス ・ 液化石油ガス
	2 管	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) (白管) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3454) (黒管) ・ ガス用ステンレス鋼フレキシブル管 ・ ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774) ・ ポリエチレン被覆鋼管 (JIS G 3469) ・ 塩化ビニル被覆鋼管
	3 継手	・ 鋼管継手 (亜鉛メッキ) ・ PLS継手同等品以上 ・ 溶接継手
	4 プロパンガス集合装置	・ () kg × () 本立 ・ 無
	5 機器等	・ パルク貯槽 () kg ・ 型式 ・ 構造
	6 遮断装置等	・ 別図による
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遮断弁 ・ ガス漏れ警報器 ・ 取付は (・ 本工事 ・ 別途工事) とする。 ・ 配線接続は (・ 本工事 ・ 別途工事) とする。 ・ コントローラーは圧力確認復帰形とする。 ・ 本工事は、当地区ガス会社責任施工とする。 <p>気密試験は、配管途中埋戻し前又は、配管完了後監督員立会の上試験を行う。</p>

空調設備	1 設計条件	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">条件</th> <th colspan="2">屋外</th> <th colspan="2">屋内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>35.0 °C</td> <td>67.1 %</td> <td>28.0 °C</td> <td>50.0 %</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>0.1 °C</td> <td>71.5 %</td> <td>19.0 °C</td> <td>40.0 %</td> </tr> </table> <p>※ 湿度調節機能がない設備については、成行とする。</p>	条件	屋外		屋内		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏季	35.0 °C	67.1 %	28.0 °C	50.0 %	冬季	0.1 °C	71.5 %	19.0 °C	40.0 %
	条件	屋外		屋内																	
		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																
	夏季	35.0 °C	67.1 %	28.0 °C	50.0 %																
	冬季	0.1 °C	71.5 %	19.0 °C	40.0 %																
	2 冷水・温水・冷却水	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) (JIS G 3452) SGP 																			
	3 膨張・補給水管	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (JIS G 3452) SGP ・ 断熱材被覆鋼管 (JCDA0009) 																			
	4 ブライン管	・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (JIS G 3452) SGP																			
	5 給水及び排水管	給、排水設備の項による。																			
	6 ファンコイルユニット及びパッケージエアコン	・ 床置形 ・ 天吊形 (・ 露出 ・ 隠ぺい形 ・ カセット形)																			
	7 フレキシブルジョイント	・ ステンレス製ベローズ形 ・ 合成ゴム製																			
	8 吹出口・吸込口	・ 枠及びスリットの材質は ・ 鋼板製 ・ アルミニウム製																			
	9 防煙・防火ダンパー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防煙ダンパー (SD) ・ 防火ダンパー (FD) ・ 防煙防火ダンパー (SFD) ・ 防煙ダンパーは ・ 電気式 ・ 空気式 ・ ダンパー復旧機構は ※ 遠隔式 ・ 手元式 																			
10 風速	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラスウールダクト (円形ダクト) (注: 火気使用室、多湿箇所は使用不可) ・ 亜鉛鉄板製 (空調、換気、排煙) ・ 鋼板製 (排煙) (※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト) 長方形ダクトは ※ コーナーボルト工法 (・ 共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アンクルフランジ工法) <p>消音材を内貼りした風速、チャンパーは図示寸法は内法寸法とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ダンパー前後の風量測定口は、図示した箇所に設ける。 ・ 空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁を設ける。自動空気抜き弁は、元バルブ付とする。 <p>試験は、配管途中若しくは隠ぺい、埋戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。空気調和設備機器取付完了後試験調整を行ない、風量、温度、湿度及び騒音の測定を行い、測定表を提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冷媒及び吸収液等の処理については、回収後適正に破壊処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ・ 業務用冷凍空調機器は、「フロン排出抑制法」に従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ・ 法に基づく機器台帳を製作し監督員に提出する。 ・ 特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法) の対象となるものは、同法の定めに従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 <p>※ 機器表特記による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空気調和機等又はフィルターチャンパーの装着枚数の () % を予備品 (特付) として納める。 																				
11 冷水水管の空気抜	試験は、配管途中若しくは隠ぺい、埋戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。空気調和設備機器取付完了後試験調整を行ない、風量、温度、湿度及び騒音の測定を行い、測定表を提出する。																				
12 その他	試験は、配管途中若しくは隠ぺい、埋戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。空気調和設備機器取付完了後試験調整を行ない、風量、温度、湿度及び騒音の測定を行い、測定表を提出する。																				

換気設備	① ダクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧ダクト (○ スパイラルダクト ・ コーナーボルト工法 (・ 共板 ・ スライド) ・ アンクル工法) とする。 ・ 厨房系統の排気用ダクトは標準仕様書よりも一層手厚いものを使用する。 ・ 厨房用ダクトはアンクルフランジ工法とする。 ・ グラスウールダクト (円形ダクト) (注: 火気使用室、多湿箇所は使用不可)
	2 風量測定口	取付位置は (・ 図示した位置 ・ 遠心送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ・ 外気取入れダクト) とする。
	3 ダンパー	空気調和設備の当該項目による。
	4 排気ダクトのシール	・ 浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) 系統
	5 チャンパー	空気調和設備の当該項目による。
	6 保温	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下配ダクトの保温を行う。 ・ 全熱交換器用のダクト (保温の厚さ25mm、範囲は図示による。) ・ (・ 厨房・湯沸室・) のダクト (仕様はh・(イ)・Ⅶとし範囲は図示による。) ・ OAダクト 機器から外壁の間 (保温の厚さ25mm) ・ EAダクト 外壁より1m (保温の厚さ25mm)

自動制御設備	1 中央監視制御装置	・ 有り (構成機能図は図示による) ・ 無し
	2 電源装置	・ 要 (・ 本工事 ・ 別途工事) ・ 不要
	3 計装工事の記録	屋外、屋内露出の記録は、図面に特記のない限り金属管記録とする。

工事場所：福山市久松台一丁目9番1号



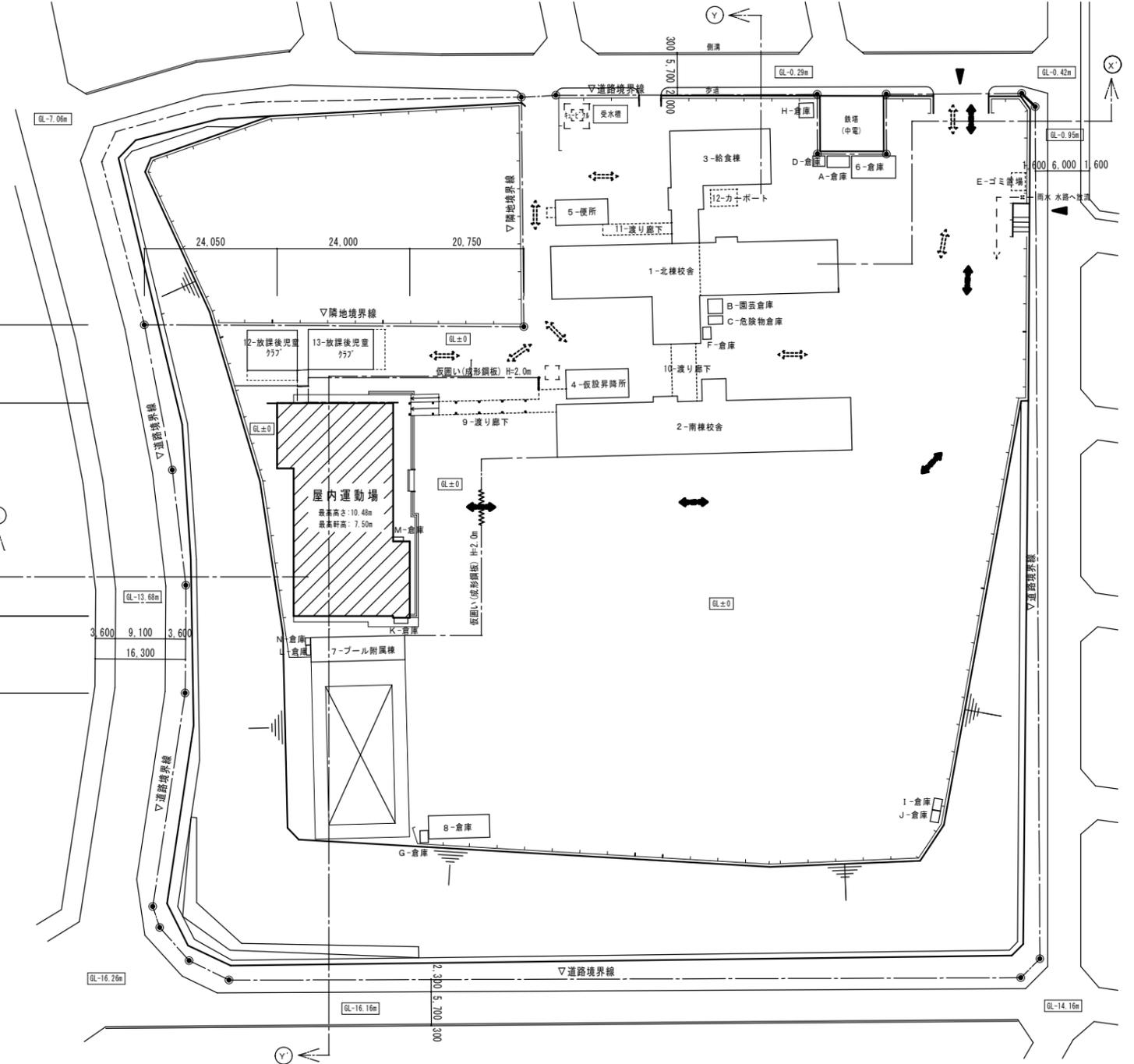
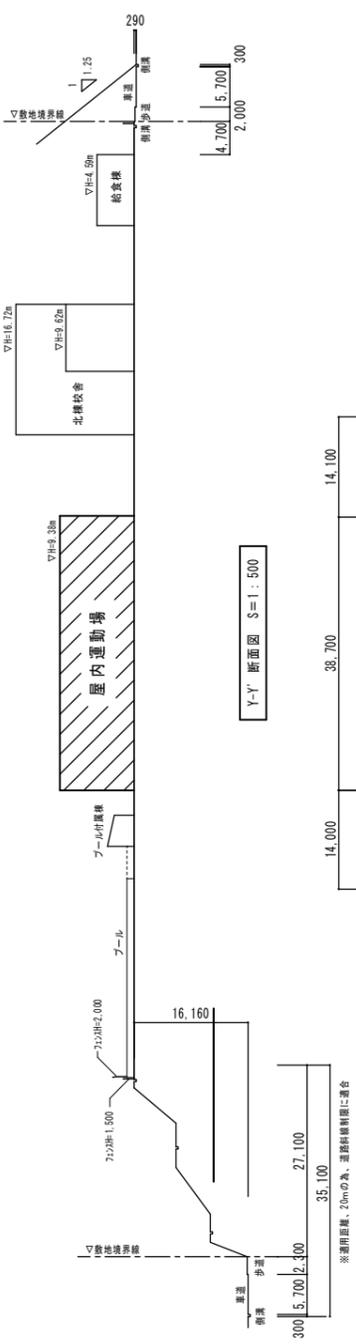
付近見取図

記号	名称	施工場所	管種
—	給水管	屋内一般配管	水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (HVP) JIS K 6742
		土間配管	水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (HVP) JIS K 6742
		屋外地中配管	水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (HVP) JIS K 6742
—	汚水管	屋内一般配管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741
		屋外地中配管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741
—	雑排水管	屋内一般配管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741
		屋外地中配管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741
---	通気管	屋内一般配管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741
		屋外地中配管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741
—	屋外排水管	樹間	硬質ポリ塩化ビニル管 (VW) JIS K 6741
		上記以外	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741
●	埋設標示柱	土 面	
●	埋設表示ピン	アスファルト面 コンクリート面	

- 仮設工事特記事項 (別途建築工事内容)
1. 工事車両出入口は、原則として東門とする。
 2. 工事車両出入口：キャスターゲート程度とする。
 3. 児童の移動が集中する時間帯(登下校時等)は、重機・資材の搬入を避ける。
 4. 車両通行部は地均し復旧を行う。
 5. 仮設図に記載された仮設等は、発注者の考え方を示したものであって、実際の施工においては、事前に詳細な調査・検討を行い、より安全な施工に努める。
 6. 仮設計画を立案する前に、学校関係者及び監督員と十分協議する。
 7. 仮設計画は、監督員の承諾を得る。
 8. 施工者が必要と判断した場合には出入口前等に鉄板を敷いて養生を行う。
(仮囲い範囲内並びに敷地内の搬出入経路で工事により損傷した場合は原状回復を行う)
 9. 解体建物の周囲にある雨水排水施設を壊さないように注意する。
(既存施設を備えた場合は復旧する。)

凡例 (別途建築工事内容)

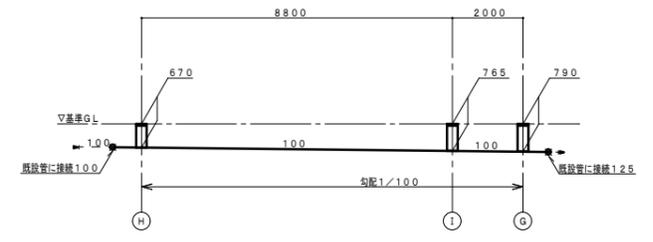
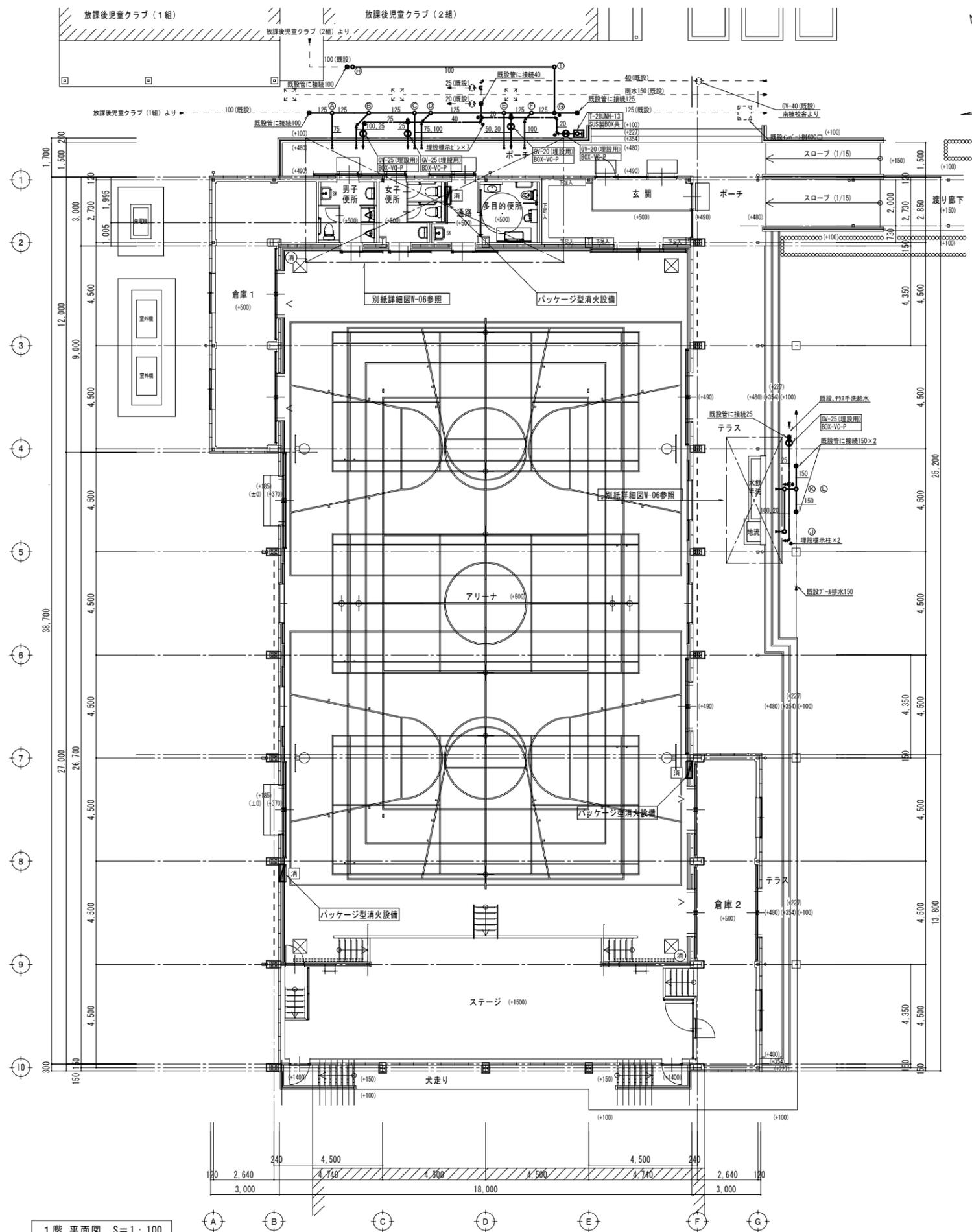
---	仮囲い(成形鋼板) H=2.0m
MM MM	キャスターゲート W6.0m×H2.0m
←→	工事車両進入経路
←→	生徒・教師・来客等 動線等



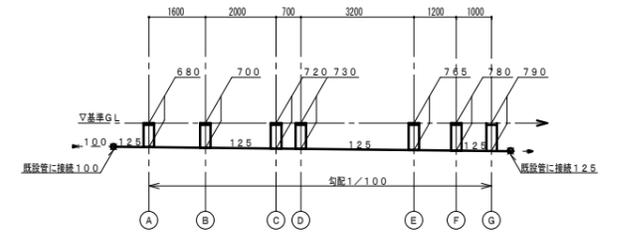
配置図 S=1:500

■：申請建物
□：既存建物

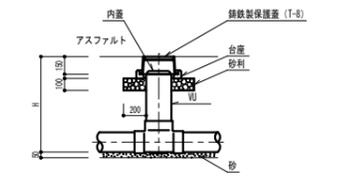
縮尺率
A-1: 100%
A-2: 71%
A-3: 50%



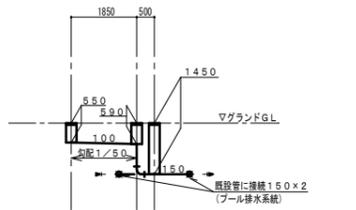
北側(放課後児童クラブ系統)排水勾配図



北側(体育館系統)排水勾配図



小口径樹(鉄製保護蓋)アスファルト部分 要領図-S

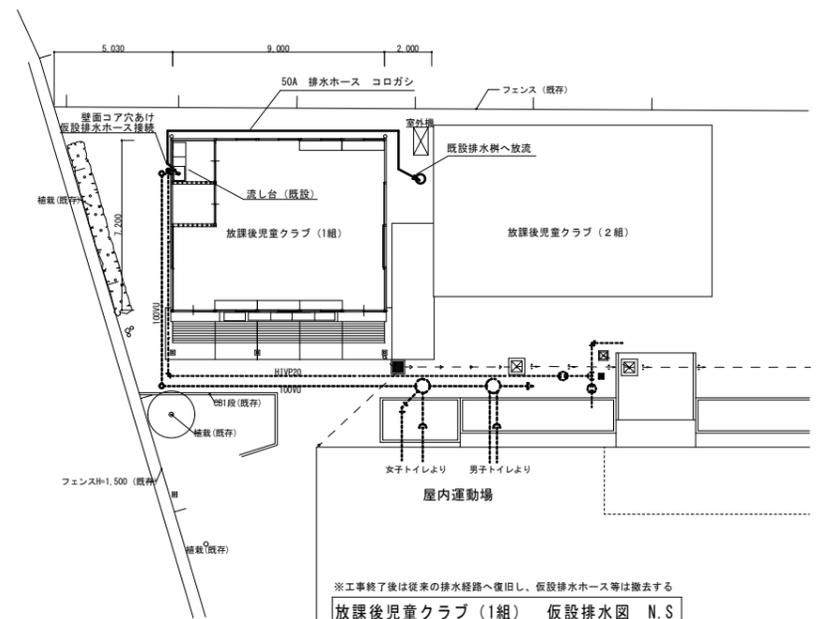


東側排水勾配図

樹リスト

記号	種類	仕様 品名-管径-樹径	蓋	設計GLから管底 までの深さ(mm)	地盤状況・備考
A	小口径インバート樹	90Y-125A-200φ	鉄製製防護蓋(T-8)	680	アスファルト
B	小口径インバート樹	45Y-125A-200φ	鉄製製防護蓋(T-8)	700	アスファルト
C	小口径インバート樹	90Y-125A-200φ	鉄製製防護蓋(T-8)	720	アスファルト
D	小口径インバート樹	45Y-125A-200φ	鉄製製防護蓋(T-8)	730	アスファルト
E	小口径インバート樹	90Y-125A-200φ	鉄製製防護蓋(T-8)	765	アスファルト
F	小口径インバート樹	45Y-125A-200φ	鉄製製防護蓋(T-8)	780	アスファルト
G	小口径インバート樹	90Y-125A-200φ	鉄製製防護蓋(T-8)	790	アスファルト
H	小口径インバート樹	ST-100A-150φ	鉄製製防護蓋(T-8)	670	アスファルト
I	小口径インバート樹	90L-100A-150φ	鉄製製防護蓋(T-8)	765	アスファルト
J	小口径インバート樹	90L-100A-150φ	鉄製製防護蓋(T-8)	550	±
K	小口径インバート樹	DRY-100A-150φ	鉄製製防護蓋(T-8)	590	±
L	小口径インバート樹	90Y-150A-200φ	鉄製製防護蓋(T-8)	1450	±

※樹リスト記載の深さは、参考寸法とし、着工前に、既設管、樹の深さの現場確認を行ない、問題があれば、係員と協議の上、施工する。(十分に勾配が可能な場合は汚水管流入系統樹は、段差付樹を、設置する。)



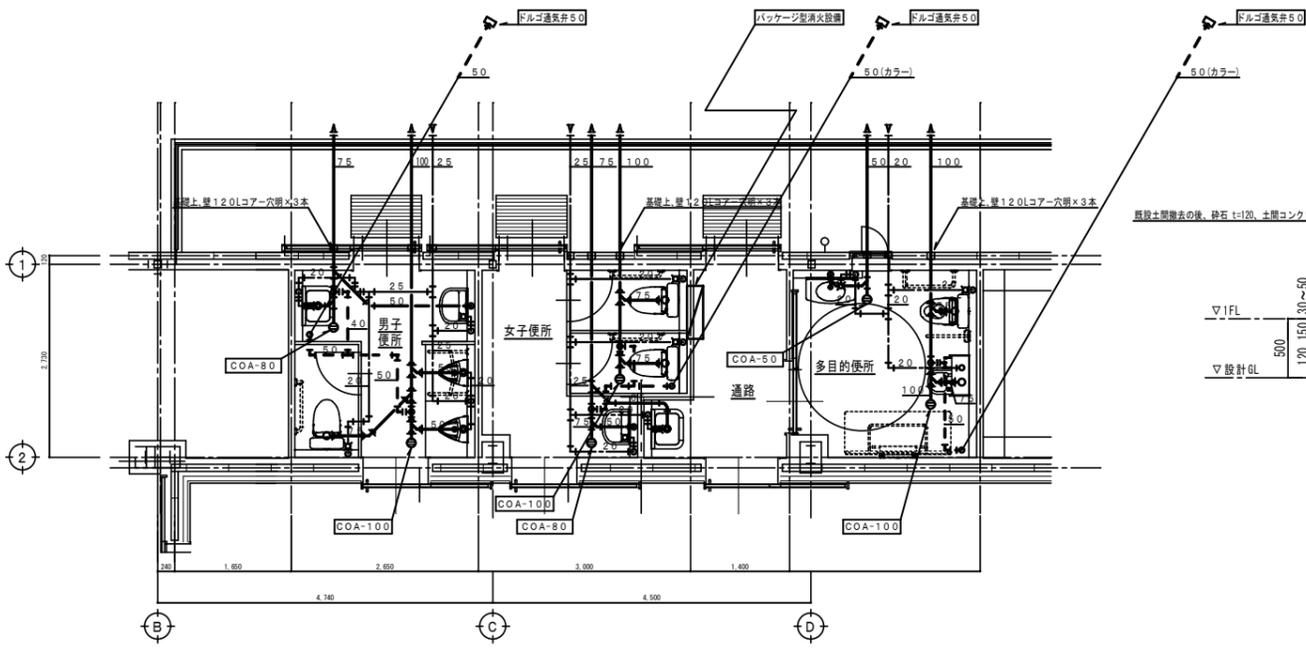
※工事終了後は従来の排水経路へ復旧し、仮設排水ホース等は撤去する
放課後児童クラブ(1組) 仮設排水図 N.S

縮尺率
A-1: 100%
A-2: 71%
A-3: 50%

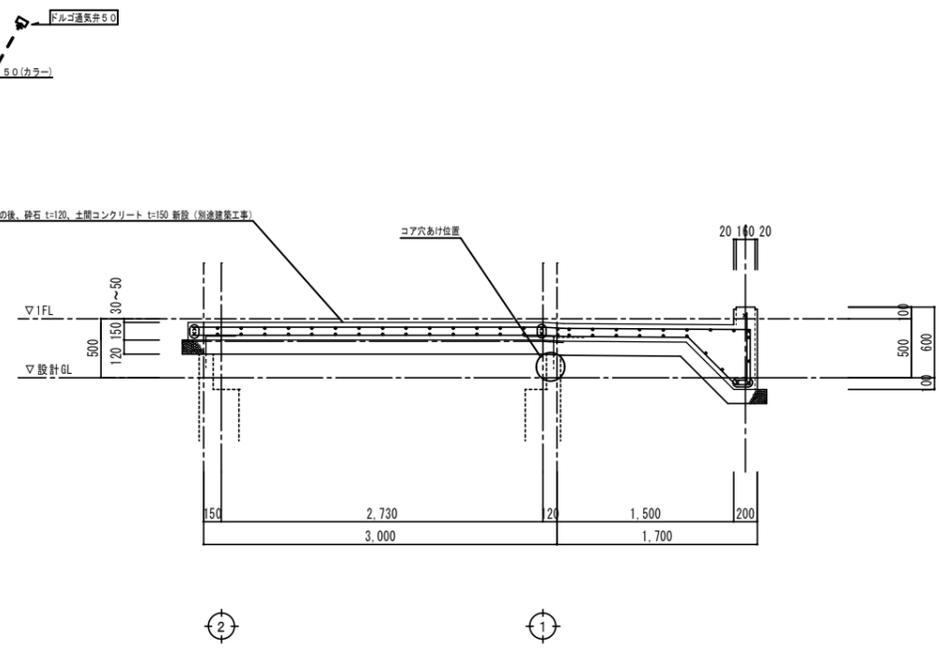
1階平面図 S=1:100

衛生器具表

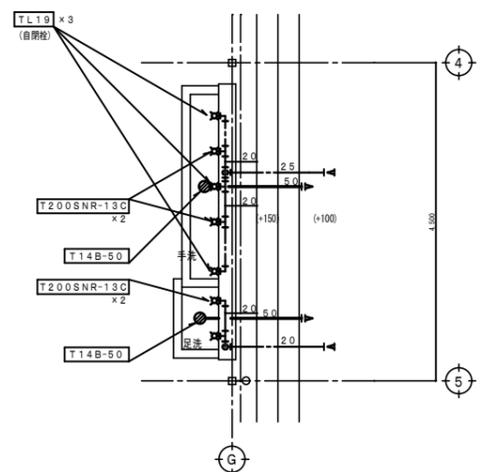
器具番号	器具名称	型式・付属品 参考型番				数量合計	女子便所	男子便所	多目的便所	通路	テラス	手洗・足洗	屋外	備考	電源
		TOTO品番		LIXIL品番											
L-1	洋風大便器	CS597BCS	SH596BAR	TCF116	BC-P20SUM	DT-PA250UTK	CF-18ALP	3	2	1			タンク式、床置床排水、壁給水、暖房便座	AC-100V、52W	
L-2	洋風大便器	CS597BCS	SH596BAR	TCF5534AUY	BC-P20SUM	DT-PA250UTK	CW-PA21LQF-NEC-R1	1		1			タンク式、床置床排水、壁給水、温水洗浄便座	AC-100V、316W	
L-3	紙巻器	YH701			CF-63HST			4	2	1	1		欄付二連		
L-4	コンパクトオストメイトパック	UAS81LSCIN	URT141x2		YPTOM-B210W	PTOM-ESCRx2		1		1			電気温水器内蔵	AC-100V、600W	
L-5	小便器	UFH500	TG600PN		U-406RU	UF-3JT		2		2			壁掛壁排水		
L-6	洗面器	L210DM	TL19AR	T6BMP	L-132AG	LF-P02B	LF-4PAL	2	1	1					
L-7	洗面器	L270CM	TEL28SS1W	TLDP2201J	L-275FCR	AM-300C	LF-WN7PF	1		1			自動水栓 (発電タイプ)		
L-8	掃除流し	SK22A	T23AEQ20C	TN114	T37SGEP	S-202A	LF-7KF8-19-U	SF-202	SF-20SAF-P	1					
L-9	化粧鏡	YM3545FE			KF-3545A	A-669-1		2	1	1			盗難防止固定金具		
L-10	化粧鏡	YM6090F			KF-6090A			1		1					
	折りたたみシート				建築工事			(1)		(1)					
	手すり				建築工事			(5)	(2)	(1)	(2)			洋風大便器	
	手すり				建築工事			(1)		(1)				小便器	
L-11	オートストップ単水栓	TL19			LF-P02			3			3			自閉式	
L-12	横水栓	T200SNR13C			LF-7R-13-U			4			4				
L-13	散水栓	T28UNH-13(SUS製BOX共)			LF-33-13-CV			1				1			
	床上掃除口	COA-50						1							
	床上掃除口	COA-80						2	1	1					
	床上掃除口	COA-100						3	1	1	1				
	ドルゴ通気弁	50						3	1	1	1				
	流し排水金物	T14B-50						2			2				



便所配管詳細図 S=1:50

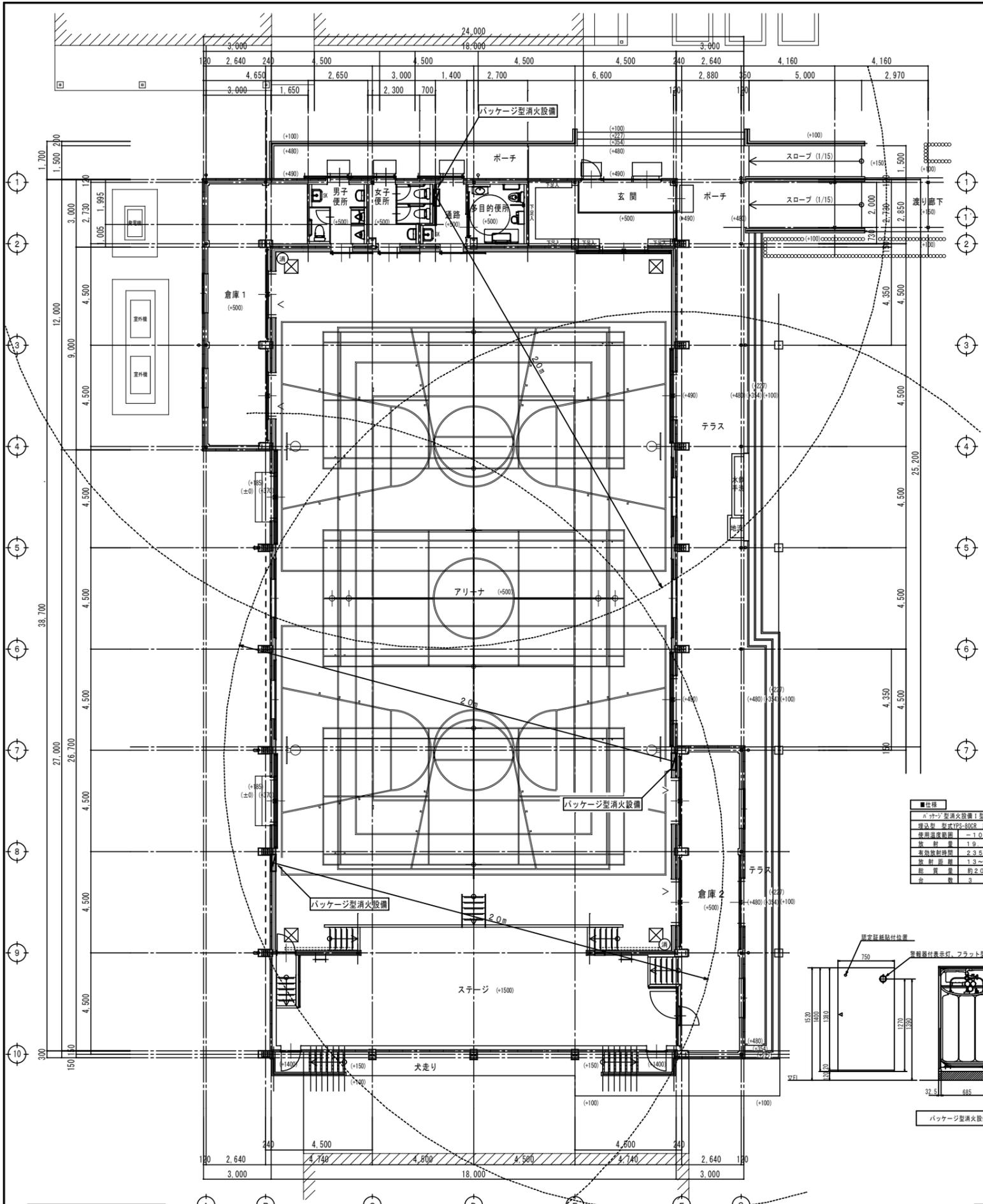


便所附近断面図 コア穴あけ位置 (参考) S=1:30

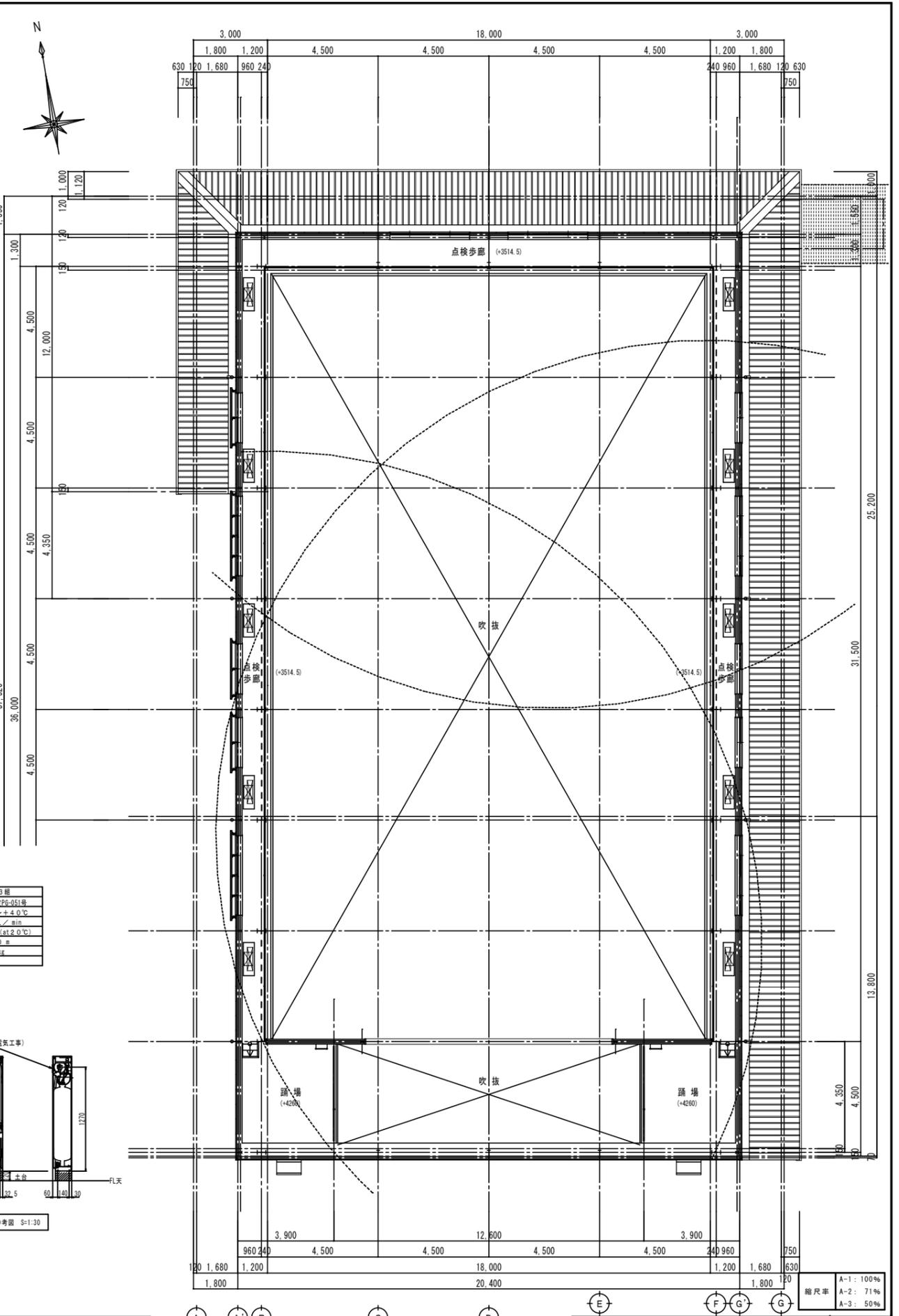


テラス、手洗・足洗配管詳細図 S=1:50

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%



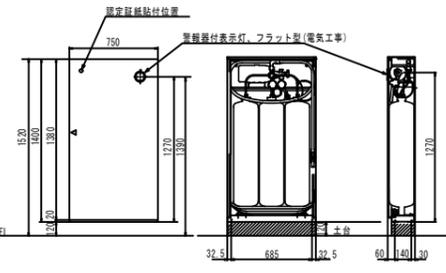
1階平面図 S=1:100



点検歩廊平面図 S=1:100

■仕様

パッケージ型消火設備 1型×3組
構造型 型式PFS-800R 認定PFS-051号
使用温度範囲 -1.0℃~+4.0℃
放射量 1.9 8L/min
有効放射距離 2.35m (at 2.0℃)
放射距離 1.3~2.0m
総質量 約2.00kg
台数 3



パッケージ型消火設備参考図 S=1:30

福山市建設局建築部設備課

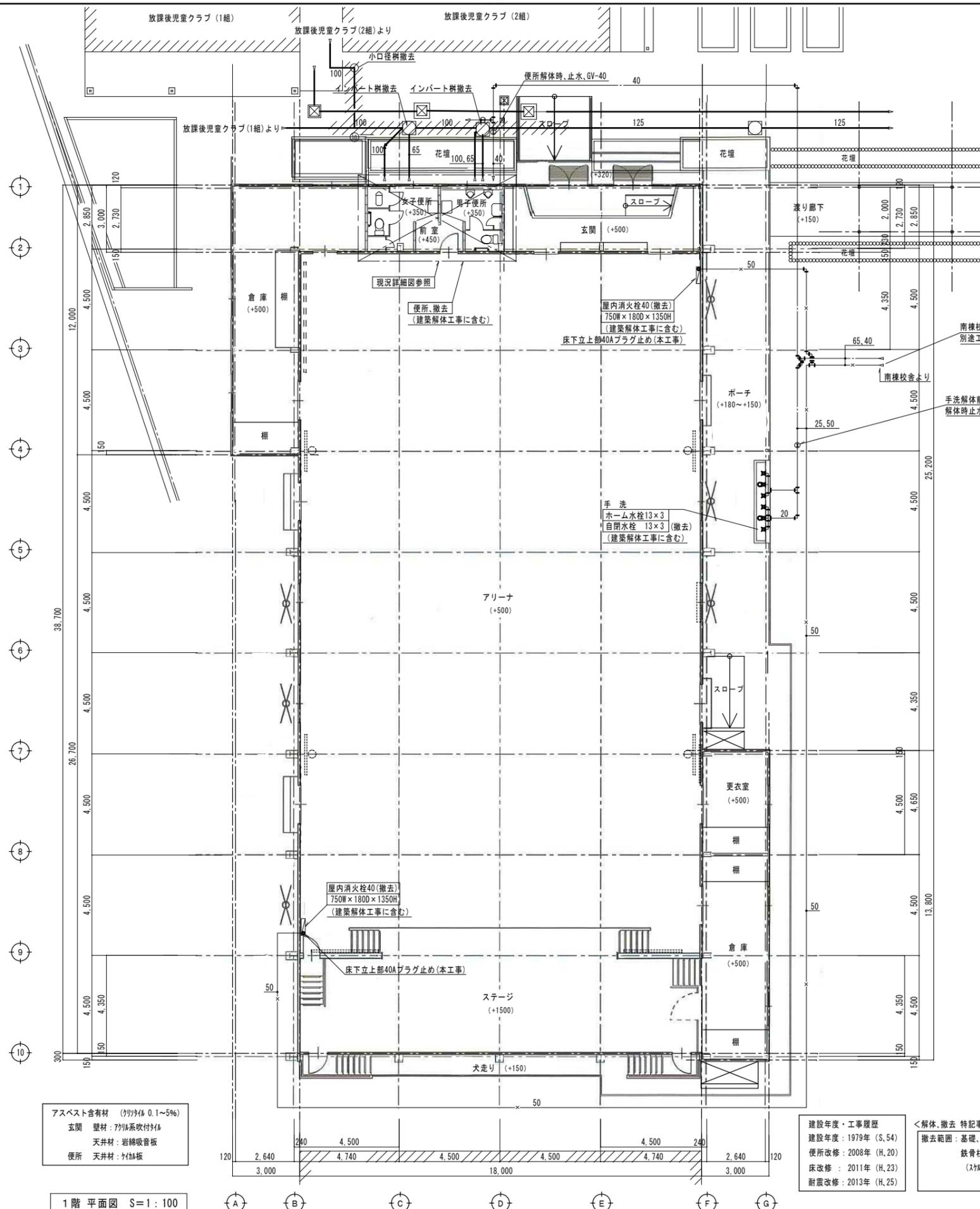
主務 課員 次長 次長 設備課長 建築部長

図面NO. W

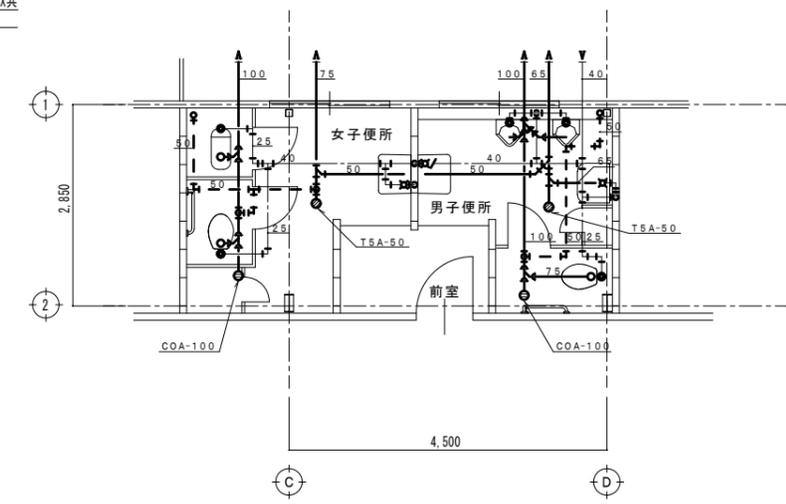
1:100

TEL (084) 981-4877

一級建築士 大臣登録 第 279946 号 芝雅浩



凡 例	(撤去)
	排水管撤去 (VU)
屋外インバート新設	
SC-3	600×600×700H×2ヶ所
(マンホール B型600φ)×2ヶ所	



現況詳細図 S=1:50 ※土間解体は、建築工事
改修配管施工に支障が生じる現況配管は本工事で撤去する

現況便所器具表 (建築解体工事に含む)

器具名	仕 様	男子便所	女子便所	数 量
洋風大便器	C-21、床FV	1	1	2
和風大便器	C-375V、床FV		1	1
小便器	U-53、T60P	2		2
手洗器	L-5D、自閉水栓、Pトラップ	1	1	2
掃除流し	SK22A、T23AE-19	1		1
化粧鏡	TS119AS-1	1	1	2
化粧棚	S-3	1	1	2
床掃除口	COA-100	1	1	2
床排水金物	T5A-50	1	1	2
通気金物	KVE(AC)-50	1	1	2

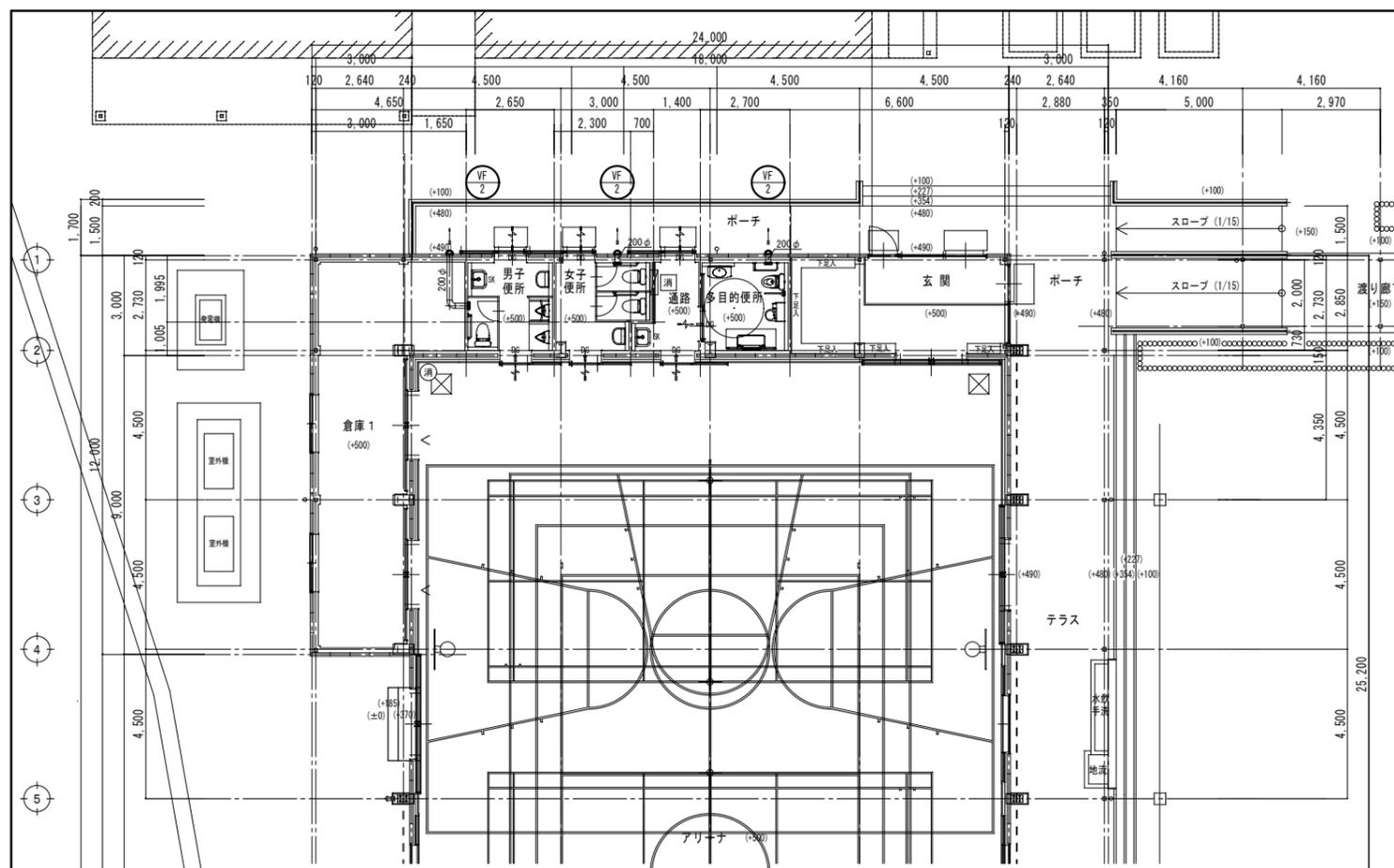
アスベスト含有材 (ケイ酸塩 0.1~5%)
 玄関 壁材: 珪酸系吹付サイディング
 天井材: 岩綿吸音板
 便所 天井材: ケイ酸板

建設年度・工事履歴
 建設年度: 1979年 (S.54)
 便所改修: 2008年 (H.20)
 床改修: 2011年 (H.23)
 耐震改修: 2013年 (H.25)

<解体・撤去 特記事項> 建築工事内容
 撤去範囲: 基礎、内部土間コンクリート(玄関、便所を除く)、
 鉄骨柱、間柱、梁、ブレースを残留とし、それ以外は撤去とする。
 (スラブ改修とし、詳細は各設計図を参照すること)

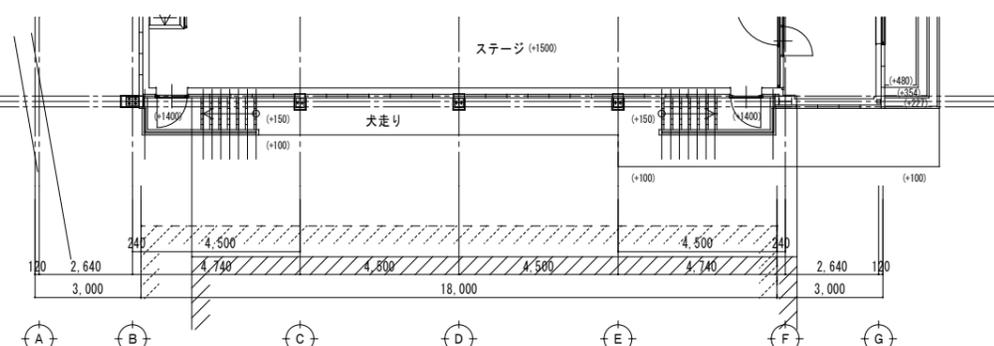
1階平面図 S=1:100

縮尺率
 A-1: 100%
 A-2: 71%
 A-3: 50%

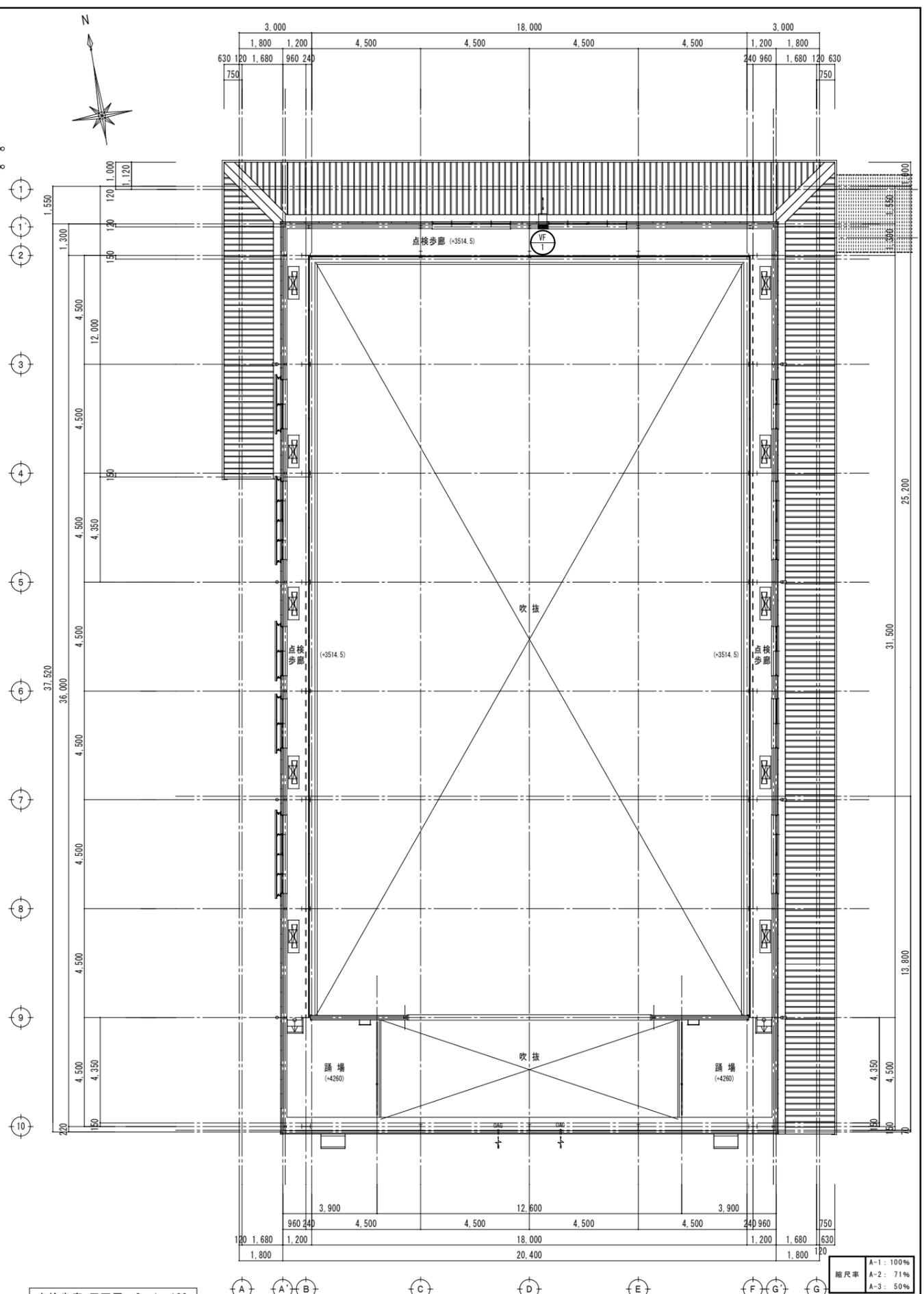


記号	名称	仕様	電源容量	数量	設置場所	備考
VF-1	換気扇	型式 壁付標準換気扇・格子グリル 能力 250φ×600 m ³ /h × 30 Pa 付属品 取付枠・SUS製ウエザーカー(防虫網付) 電動シャッター・24h運転コントロールSW	1φ-100V 40W	1	点検歩廊(1500H程度)	
VF-2	換気扇	型式 ハイファン 能力 200φ×180 m ³ /h × 10 Pa 付属品 SUS製丸形フード(防虫網付)	1φ-100V 9.5W	3	1階男子便所 1階女子便所 1階多目的便所	

室名	室面積 (m ²)	天上高 (m)	室容積 (m ³)	換気種類			シックハウス対策24h換気			換気回数による計算			設計換気量 (m ³ /h)	備考・その他
				1種	2種	3種	対象	換気回数 (回/h)	換気風量 (m ³ /h)	対象	換気回数 (回/h)	換気風量 (m ³ /h)		
屋内運動場			5,462.11			○	○	0.1	546.21				600	VF-1
男子便所	7.95	2.10	16.70			○				○	10	167.0	170	VF-2
女子便所	8.30	2.1	17.43			○				○	10	174.3	180	VF-2
多目的便所	8.10	2.1	17.01			○				○	10	170.1	175	VF-2



1階平面図 S=1:100



点検歩廊平面図 S=1:100

参考数量書

§ 工事名称 福山市立久松台小学校屋内運動場長寿命化改修
給排水衛生設備工事

§ 工事場所 福山市久松台一丁目9番1号

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

※ 「公共建築設備数量積算基準・同解説」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

設 計 書

工事名称 福山市立久松台小学校屋内運動場長寿命化改修給排水衛生設備工事

工事場所 福山市久松台一丁目9番1号

【工事概要】
給排水衛生設備工事・・・一式

屋内運動場		排水設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	屋内一般 50A	9	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	屋内一般 75A	6	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	屋内一般 100A	10	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 40A	4	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 50A	19	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 65A	3	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 75A	14	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 100A	10	m			
カラーVP	機械室・便所 50A	6	m			
床上掃除口(非防水形)	COA 50A	1	個			
床上掃除口(非防水形)	COA 80A	2	個			
床上掃除口(非防水形)	COA 100A	3	個			
ドルゴ通気弁	50A	3	個			
流しトラップ	T14BA 50A	2	個			
機械はつり(ダイヤモンドカッターによる配管用貫通口)	100~150mm 28mm	1	か所			
機械はつり(ダイヤモンドカッターによる配管用貫通口)	100~150mm 38mm	2	か所			
機械はつり(ダイヤモンドカッターによる配管用貫通口)	100~150mm 63mm	1	か所			
機械はつり(ダイヤモンドカッターによる配管用貫通口)	100~150mm 100mm	2	か所			
機械はつり(ダイヤモンドカッターによる配管用貫通口)	100~150mm 125mm	3	か所			
計						

屋外		給水設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
給水・耐衝撃性 ポリ塩ビ管(HIVP) 改修	地中配管 20A	10	m			
給水・耐衝撃性 ポリ塩ビ管(HIVP) 改修	地中配管 25A	6	m			
給水・耐衝撃性 ポリ塩ビ管(HIVP) 改修	地中配管 40A	4	m			
青銅仕切弁	10K(ねじ) 20A 埋設用	2	個			
青銅仕切弁	10K(ねじ) 25A 埋設用	3	個			
弁柵	機械 バックホウ0.13m3 VC-P(550H)	7	組			
散水栓	L-13	1	個			
散水栓BOX	SUS製	1	個			
地中埋設標	コンクリート製	2	個			
地中埋設標	鉄製	7	個			
埋設標識テープ	150幅	20	m			
配管切断接続		1	式			別紙 00-0003
土工事		1	式			別紙 00-0004
計						

